

新任者教育セミナー オンライン開催

千葉県環境計量協会
教育・企画委員長 箭内 朋子

今年度の『新任者教育セミナー』についても、コロナの感染は依然として収束の状況とはなっていないことから、昨年と同様にオンライン形式で開催しました。開催方法については、一昨年のセミナー終了後のアンケートで「オンライン形式での1日セミナーでは内容が多すぎる」という意見を頂戴したことから、昨年度はプログラムを半日×2日間として開催したところ参加者にも好評いただいたことから今年度も2日間の開催としました。

コロナの感染拡大以降、さまざまな講演会、講習会、会議等がオンライン開催に移行しており、参加者もオンライン参加に慣れて来ているようです。会場への移動時間が節約され、時間的な面では効率的となる一方で、新任者教育セミナーの目的の一つである同じ業界の中での人的ネットワーク構築という点では、大切な機会を提供できていないと感じています。

コロナ収束後にどのような開催方式が良いのか？ 首都圏環協連とも議論しながら進めて行きたいと考えています。



セミナー会場（講師：津上氏）



セミナー会場（講師：菅原氏）

本報告中の講演ならびに講義の画像については東京都環境計量協議会様作成資料の一部を転載させていただいたものです。ご提供いただいたことに感謝します。



司会進行
東環協 近野監事



開会挨拶
神環協 梶田会長



閉会挨拶
東環協 平賀会長

「新任者教育セミナー」（オンライン）開催概要

1. 開催日時 2022年6月16日(木)、17日(金)

両日とも 13:00～16:50

2. 開催方式 (一社)日本環境測定分析協会本部よりオンライン開催

YouTubeでのライブ配信、一部Zoom使用

3. プログラム

(1) 1日目：16日(木)

- ・13:00～13:30 受付 (Zoom入室状況確認)
- ・13:30～13:45 開会 (司会 東環協 近野 監事)
開会挨拶 (神環協 梶田 会長)
プログラム説明と注意事項説明 (司会者)
- ・13:45～15:00 「環境計量の仕事とは」 : 津上 昌平 氏
- ・15:00～15:15 休憩
- ・15:15～16:30 「労働安全衛生」 : 菅原 昇 氏
- ・16:30～16:50 1日目閉会の挨拶と明日の説明

(2) 2日目：17日(金)

- ・13:00～13:30 受付 (Zoom入室状況確認)
- ・13:30～13:45 2日目開会挨拶
プログラム説明と注意事項説明 (司会者)
- ・13:45～15:00 「精度良い測定のために」(前半) : 佐々木 克典 氏
① サンプルングの基礎
- ・15:00～15:15 休憩
- ・15:15～16:30 「精度良い測定のために」(後半) : 佐々木 克典 氏
② 化学分析、機器分析
③ 精度管理
- ・16:30～16:50 閉会の挨拶、連絡事項

備考

講習テキストについては、これまでは会場で配布していましたが、今回は事前に参加者にURLとパスワードを連絡、日環協ホームページにアクセスし、テキストをダウンロードして入手するという方法をとりました。各自でプリントすることにはなりましたが、当日しか入手できなかったテキストを事前に入手できました。

また、日環協が出版している「新任者教育テキスト」(定価 2,000 円)については、千環協が費用を負担し、希望者に無料で配布しました。

講義1 「環境計量の仕事とは」

講 師：（一社）日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏

〔講義目次〕

1. 環境とは、環境問題の歴史的背景、環境関連トピックスなど
2. 環境関連法規制の概要と環境測定 / 分析との関わり
3. 計量法と事業登録制度、国際規格
4. 環境関連資格取得のすすめ
 - ①環境計量士
 - ②作業環境測定士
 - ③公害防止管理者
 - ④臭気判定士
 - ⑤土壌汚染調査技術管理者
 - ⑥環境測定分析士
5. まとめ



講義2 「労働安全衛生」

講 師：イー・サポート高円寺 菅原 昇 氏



〔講義目次〕

1. 安全衛生について
2. 測定業務における安全管理
3. 試験室の安全衛生管理
4. 労働災害の原因
5. リスクアセスメント

講義3 「精度良い測定のために」

講 師：（株）佐々木環境技術事務所 代表取締役 佐々木 克典 氏



〔講義目次〕

1. サンプルングの基礎
2. 化学分析（環境測定に関する化学分析の基礎）
3. 機器分析（機器分析の基本的事項、主な機器分析の原理）
4. 精度管理（測定値の管理、データの取扱い）

参加者

1 都 2 県で 76 名、千環協からは 17 名と多くの方のご参加がありました。

《千環協からの参加者》

1	株式会社上総環境調査センター	管理部	寺下 瑠馬
2	同	管理部	草野 夏穂
3	株式会社太平洋コンサルタント		
	材料試験部	材料分析グループ	青木 千佳
4	中外テクノス株式会社	分析技術室	並木 仁志
5	同	同	坂崎 来実
6	同	国際技術室	磯部 雄悟
7	東京パワーテクノロジー株式会社		
	環境事業部分析センター		栗原 和希
8	同	同	網野 渚紗
9	同	同	近藤 直希
10	同	同	久保 直之
11	株式会社 日立産機ドライブ・ソリューションズ		
	環境管理部		岸 追求
12	株式会社ユーベック	営業課	岡野 智広
13	同	同	徳門 孝洸
14	同	同	山口 雅貴
15	同	同	川中子 ひかる
16	同	総務課	藤井 遥奈
17	同	同	吉井 美穂

受講者アンケート結果（抜粋）

1. あなたについて

年齢を教えてください		
	人数	割合
20歳未満	0	0%
20代	31	86%
30代	2	6%
40代以上	3	8%
計	36	

現在の主な担当業務は？（複数回答あり）		
	人数	割合
分析業務（大気、臭気関係）	7	19%
分析業務（水質、土壌関係）	20	57%
分析業務（騒音、振動関係）	3	8%
分析業務（上記以外の分野）	7	19%
営業	6	17%
総務・経理・事務	4	11%
その他	7	19%

2. 16日の講義について

環境計量の仕事とは	配布資料について		講義内容について	
	人数	割合	人数	割合
大変理解できた	8	22%	8	22%
理解できた	26	72%	25	69%
あまり理解できなかった	2	6%	3	8%
理解できなかった	0	0%	0	0%

労働安全衛生について	配布資料について		講義内容について	
	人数	割合	人数	割合
大変理解できた	7	19%	11	31%
理解できた	27	75%	23	66%
あまり理解できなかった	2	6%	1	3%
理解できなかった	0	0%	0	0%

3. 17日の講義について

精度のよい測定のために (サンプリング編)	配布資料について		講義内容について	
	人数	割合	人数	割合
大変理解できた	12	35%	11	31%
理解できた	21	62%	23	66%
あまり理解できなかった	1	3%	1	3%
理解できなかった	0	0%	0	0%

精度のよい測定のために (化学分析編)	配布資料について		講義内容について	
	人数	割合	人数	割合
大変理解できた	9	26%	8	23%
理解できた	24	69%	23	66%
あまり理解できなかった	2	6%	4	11%
理解できなかった	0	0%	0	0%

4. 将来的に下記の資格を取得する予定はありますか？

	人数	割合
環境計量士	10	29%
公害防止管理者	7	20%
臭気判定士	4	11%
放射線取扱主任者	3	9%
日環協 環境測定分析士	3	9%
日環協 環境騒音・振動測定士	2	6%
作業環境測定士	1	3%
その他	10	29%

2022年度 新任者教育セミナー受講の感想文

株式会社太平洋コンサルタント
材料分析技術部 品質化学グループ
青木 千佳

この度は、首都圏環境計量協議会連絡会主催の「2022年度新任者教育セミナー」に参加させて頂きありがとうございました。セミナーでは講師の方から労働安全衛生や環境計量の仕事、更には精度の良い測定について等のご講演を頂き、新人分析者として働く際に必要な基礎知識を幅広く学ぶことができました。

「労働安全衛生」の講義では、労働災害の発生状況として年間死傷者が13万人以上もいることを知り大変驚きました。ハインリッヒの法則で提唱されているように、大きな事故の陰には多くのヒヤリハットがあり、これらのリスク低減のために自身の体調管理や作業環境の管理が重要となります。まずは、自分自身にできることとして、定期健診の受診、作業前KYの実施、使用する器具や薬品の管理方法を正しく理解しながら作業に取り組んでいきたいと思います。

「環境計量の仕事とは」の講義では、環境問題の現況や分析の定義を学びました。分析方法には多種多様なものがあり、その分析対象によって用いる方法が異なることからまずは、状況を把握し評価することが最も重要な役割を担っているというお話でした。私自身、分析者として責任を持って業務に取り組まなければならないと思いました。また、国際規格であるISOのお話では、規格の正しい理解と適切な分析スキルが必要との内容で、私も顧客に信頼性の高い結果を提供していけるよう実務経験を積んでいきたいと思います。

「精度の良い測定のために」の講義では、サンプリングとその後の作業である分析の繋がり方やそれぞれの重要性を学びました。サンプリングでは、目的に合った手法を用いて行う必要があります、まずは分析内容とそれに必要なサンプリング手法を確認することが大変重要であることを知りました。実際には業務分担でサンプリングを行わない状況であっても、目的を理解し、的確な分析手法を選択することが大切というお話があり、分析者は目的や背景を把握してから業務に取り組むべきだと感じました。また、試験の精度においては、規格に則って分析を行うだけでは不十分で、使用する薬品、実験器具、装置の管理、更には数値の取り扱いを理解することも重要であることを学びました。様々なことを心に留め、精度良い分析を行うために精進していきます。

この度のセミナーでは多くの知識や情報を得ることができ、ありがとうございました。実務経験や知識は、まだまだ浅いですがセミナーでお聞きしたことを実務に活かしていくよう心掛けます。また、今回は残念ながらオンラインでの参加となりましたが、次回このような機会がありましたら、是非とも会場で他社の方々との交流を深めたいと思います。